



●甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から Part2

～広く仲間を募り、ともに歩みを進め、交流の輪を広げましょう～ 米山 俊彦

●あずさ部長主題：垣根を低くし、活発な活動を 山口 直樹（東京武蔵野多摩）

●東日本区理事主題：ワイズのらしさ再発見 山下 真（十勝）

●アジア太平洋地域会長主題：信念と愛を持って行動しよう 田上 正（熊本むさし）

●国際会長主題：信念、愛、行動 エドワード・オン（シンガポール）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2025年10月
No.37

●今月の強調目標

EMC

●今月のことば

「一葉落ちて天下の秋を知る」

遠藤 恭範 君 選

今月の例会案内（第37回）

●日時：2025年10月5日（日）18:00～20:00

●会場：魚そう北口分店

●会費：4,000円

- ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司 会 者
- ・会長あいさつ 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 遠藤 恭範 君
- ・入会式 和田幸士 さん
- ・ワイズディナー（懇親）
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー＆アニバーサリー
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

9月のデータ

会員数:11名 例会出席:メン8名(例会出席率:73%) キャンディデイト:和田幸士

甲府クラブ:メン8名・メネット2名/ゲスト:ジェイソン・プラット様・初鹿野駿河様/ビジター:12名(氏名は2ページ)

ニコニコ:24,010円(東日本区災害等緊急支援基金へ)

ハッピーバースデー

メン 渡邊 隆 (10/28)
パートナー 藤原チョンラダー(10/8)

Photo
of
monthly



【9月3日(水)甲府・甲府やまなみクラブ合同例会】

● 親クラブとの9月合同例会 ●

仙洞田 安宏

75歳になる親クラブの甲府クラブと、丁度3歳になった甲府やまなみクラブの初めての合同例会が、9月3日(水)山梨YMCAで開催されました。やまなみのお兄さんに当たる甲府21クラブへも声掛けしたところ、9人もの参加がありました。また、山下真・東日本区理事、榎本博・東日本区書記、山口直樹・あずさ部部长も出席されました。

今回はやまなみの担当でしたので、やまなみの通常の例会に則って進めました。米山会長の点鐘で



【山下真 東日本区理事】



【山口直樹あずさ部部长】

開会、山下理事、山口部長から挨拶をいただいた後、ワイズディナーに入りました。「食前の感謝」は、やまなみでは一同では行わず、銘々で行っているので、そのようにしました。

メインプログラムは、山梨県立大学准教授のジェイソン・プラット様から「アフガニスタン:平和を奪われた国と、私のサポートについて」というテーマで講演していただきました。プラットさんは、駐在日アフガニスタン大使館で広報官を務められた経緯から、アフガニスタンで政府のプロジェクトに携われてきました。山梨県立大学では英語と国際政治学の教鞭をとっています。さらに「バハール山梨」という一般社団法人を学生達と立ち上げ、アフガニスタンの特産品の販売などを通じてサポートしています。

アフガニスタンは上皇(平成天皇)夫妻のハネムーン先の一つでもあったように、元々平和な国でした



【卓話者・ジェイソン・プラット様】

が、1970年代におけるクーデターをきっかけに長きにわたる混乱に陥りました。卓話では、アフガニスタンの自然風土、歴史、文化、風俗などを紹介されましたが、玄関で靴を脱ぐこと、Sandali(日本のコタツ)でみかんを食べることなど、日本と似ている点もあるとのこと、身近に感じました。

タリバンに入る若者達は、その主義に同調しているわけではなく、貧しいから入っているということで、「バハール山梨」では問題のルーツを治すという考え方でサポートしているそうです。この日もアフガニスタンの民芸品や食品の販売を行いました。普段知る事のないアフガニスタンについて、理解を深めることができました。

諸報告では甲府21クラブのメンバーから、「子どもゆめ基金」の助成を受けた「銀河鉄道の森デイキャンプ」と「フルーツ王国ファン」のアピールがありました。ハッピーバースデーを祝し、YMCAの歌を歌って、甲府クラブ・ピーターマウントフォード会長の点鐘で閉会しました。

なお、この日のニコニコ献金は東日本区災害等緊急支援基金へ寄付することにし、山下理事に渡されました。また、ワイズソング等のピアノ伴奏を甲府21クラブの杉田博子さんに担っていただきました。ありがとうございました。

33名という大勢の出席者と、内容の濃いプログラムで合同例会の良さを感じました。

出席者(敬称略)-ゲスト:ジェイソン・プラット(山梨県立大学)・初鹿野駿河(同大学生)、甲府やまなみメン:米山・松本・渡邊・大澤・遠藤(恭範)・藤原・仙洞田・田草川、キャンディデイト:和田幸士、甲府メン:小倉恵一・標克明・田中克男・中澤文雄・中田純子・ピーターマウントフォード・丸茂正樹・渡辺徳之、メネット:標恭子・中島雅子、ビジター:山下真(十勝)・榎本博(伊東)・山口直樹(東京武蔵野多摩)・荻野清・小澤公紀・功刀弘・佐藤重良・杉田博子・寺田喜長・松村禎夫・水越正高・山縣譲治(甲府21)



★やまなしグローバルフェスタ 2025★

チャーター以来4回目となる、国際交流・地域奉仕事業である「やまなしグローバルフェスタ2025」が10月5日(日)開催されます。これまで、6月9日の第1回を皮切りに、7月8日、8月4日、9月5日、16日、29日と、計6回の実行委員会をZoomで開催し準備を進めてきました。概要は左記の通りです。

- ▼主催 甲府やまなみワイズメンズクラブ
- ▼共催 山梨YMCA・山梨県立青洲高校・ぼくまち市川三郷
- ▼日時 2025年10月5日(日) 10:00～16:00
- ▼会場 甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちやばれ広場
- ▼出展:山梨YMCA・山梨タイ友好協会・甲斐市国際交流協会・バハール山梨・ユニタス外語学院・山梨学院大学国際リベラルアーツ学部・山梨台湾総会等14団体/キッチンカー:9台/ステージパフォーマンス:6グループ(ガーナジャンベ音楽・台湾民俗舞踊・ペルーダンス・山梨YMCAチアダンススクール・青洲高校軽音楽部・和太鼓



【青洲高校生デザインによるチラシ】

♥ 山梨YMCAチャリティーバザー ♥



11月3日(月・文化の日)に開催される、第65回山梨YMCAチャリティーバザーの実行委員会が9月8日、9月22日にあり、準備が始まりました。やまなみクラブは、昨年同様大型テントとタレントショーのステージ設営を遠藤(恭)さんの会社が協力します。当日は「地球屋台村」の一角で、コーヒー、味噌かりんとう、フランクフルト等の販売を担当します。

●献品に協力下さい

- ・食料品…海苔・乾物・缶詰・調味料・飲料・お茶・インスタント食品等(未開封で賞味期限内のもの)
- ・雑貨…食器・タオル・シーツ・洗剤・電化製品・書籍(文庫本・漫画・児童書)・CD・DVD・ブルーレイ等
- ・商品券…ビール券・ギフト券・お米券・図書カード・QUOカード等

●10月24日(金)までに山梨YMCAへ届けて下さい。

♣ やまなみ農園だより ♣



【9月16日やまなみ農園にて】

9月14日(日)、15日(月・祝)両日の早朝、大根の種を蒔きました。14日は、米山会長と仙洞田会員で畝作り、15日は松本会員も加わって種蒔きをしました。2畝作り、種が余ったので、後日(9月20日)もう1畝作りしました。

一週間ほどで双葉が出ました。全て順調に育てば、100本近い大根が収穫できますが、果たしてどうなることやら。

サツマイモはまだ葉が青いので、収穫はもう少し先の模様です。

そのような状況なので10月のソライチ(フリーマーケット)への出店は見送ることになりそうです。(写真右・大根の双葉)





山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「秋の交流に感謝を込めて」

秋風が心地よく感じられる季節となりましたが、甲府の夏の暑さは依然として厳しいものがございます。これまでワイズメンズクラブでは、地域に根ざした多彩な活動が展開され、会員の皆様のご活躍に深い喜びと感動をいただいております。

9月3日(水)には甲府・甲府やまなみワイズメンズクラブ合同例会が開催され、ゲストに東日本区山下理事、榎本書記、あずさ部山口部長をお迎えして、山梨YMCA本館3階「ベテル」にて行われました。9月20日(土)には甲府21ワイズメンズクラブ恒例の「ぶどう棚例会」が盛大に開催され、各クラブメンバーの絆が一層深まりました。また、卓話では熊本で開催されたAYCに山梨YMCAの風間奈月スタッフを派遣し、その体験に対する感謝と実施報告がなされました。続く9月23日(火)には甲府21クラブが、ゆめ基金事業の支援のもと、「銀河鉄道の森デイキャンプ」を実

施し、山梨県内の多くの子どもたちや親子が参加、自然の恵みの中で学びと喜びを提供されました。さらに、富士五湖ワイズメンズクラブは9月27日(土)に富士山例会を開催され、美しい自然環境の中で全国のワイズメンとの交流が深まりました。今後の予定といたしましては、甲府やまなみクラブと青洲高等学校との連携により、甲府駅北口のよっちゃばれ広場で毎年恒例の「やまなしグローバルフェスタ」を盛大に開催、地域と国際交流の輪を広げられるイベントになります。

そして、山梨YMCAでは11月3日(月・祝)に開催される第65回山梨YMCAチャリティーバザーに向け、第一回実行委員会が開催され、多くのワイズメンズクラブのメンバーが積極的に参加されました。当日までに会を重ね、心を一つにして準備を進め、地域交流と支援のための大切な場を皆で創り上げたいと決意を新たにしております。

これらの活動に込められたワイズメン交流、国際色豊かな地域共生社会への思いが、より広く深く根付くことを祈っております。

役員会報告

- ▼日時:9月24日(水) 18:30～19:30
- ▼場所:山梨YMCA
- ▼出席者:米山・渡邊・遠藤(恭)・藤原・仙洞田・田草川
- ▼報告
- ✓9月例会(甲府クラブとの合同)について…遠藤会計から収支報告があった。△2,365円
- ▼協議・確認
- ✓10/5開催グローバルフェスタの準備状況の報告が藤原さんからあった。やまなみの販売は、コーヒー、味噌かりんとう、Tシャツとする。必要備品の確認をした。当日集合は8:00、18:00から魚そう北口店で例会(慰労会)を行う。和田幸土さんの入会式を行う。田草川担当主事から、YMCAテントの手配の確認があった。
- ✓10/19のソライチについて…サツマイモの生育状況を見て出店を判断する。
- ✓YMCAバザーについて…田草川担当主事から実行委員会の報告があった。やまなみの担当は今年も国際屋台村の一角で、コーヒー・フランクフルト・味噌かりんとうの販売をする。また、遠藤(恭)さんの会社で、大型テントとステージ作りをする。
- ✓今後の予定…長野クラブの栄村例会(10/25)に仙洞田が出席予定 (文責:仙洞田安宏)

▼ 今月のことば ▼

遠藤恭範

いつまで続くのか?と思っていた酷暑も落ち着き、ようやく秋めいて来ました。今年は紅葉も遅く短い期間になる予報ですが、この言葉は「葉が一枚落ちる」という些細な現象を通じて、季節が秋へと移ろうことを悟ることができるという感性を表しています。「わずかな兆しから物事の未来を察知できる」という教訓に使われています。慌ただしい日常のなかにおいても、街中の樹木の一葉の落ち葉に思いを馳せれるような心の在り方でいたいと思い今月の言葉といたしました。

▼ これからの予定 ▼

- ✓10月25日(土) 長野クラブ栄村例会
- ✓11月 3日(月) 山梨YMCAバザー
- ✓11月 5日(水) 11月例会(山梨YMCA)
- ✓11月16日(日) ソライチ(北口・ペデストリアンデッキ)
- ✓12月 3日(水) 12月例会(山梨YMCA)

グローバルフェスタのやまなみブースに掲示するPOPにクラブのFacebookページのQRコードを初めて作ってみました。→

